

令和7年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：令和8年3月12日（木）

午後6時～8時25分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、伊藤委員、
佐藤（信）委員、斎藤（明）委員、小向委員、大湯委員、一條委員、
佐藤（綾）委員、工藤委員

事務局 土岐課長、山崎課長補佐、佐藤主幹兼協働推進係長、田中主幹兼市民生活係長、
工藤主査、佐々木主事、吉田主事、山内主事

2 審査方法

（1）一般部門

1 事業ごとに申請書類及び公開プレゼンテーションの内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに1人100点満点（10項目×10点）で採点を行う。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

【補助金の交付決定を受けた回数が0～2回】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の各審査項目の平均点が3点以上

【補助金の交付決定を受けた回数が3回以上】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の「公益性」、「将来性」、「費用の妥当性」の審査項目の平均点が6点以上
- ③出席委員の「必要性」、「実現性」の審査項目の平均点が3点以上

（2）スタート部門

1 事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

3 審査結果

- ・一般部門 24事業中5事業
 採択事業 5事業
 不採択事業 0事業

※スタート部門 申請なし

《審査内容》

一般部門

事業番号	6	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	太宰治まなびの家 ドラマリーディング定期公演 事業		
団体名	津軽カタリスト		

【主な意見】

- ・歴史的にも文化的にも大事なものを守りながら、地域の人や県外の人などに広く色々な角度から弘前を見てもらうときに、ドラマリーディング定期公演は、一つの手段として非常に評価して良いと思う。
- ・以前から市では太宰をPRしているが、複数の部署で行っているので、そこを上手く団体がつないでくれると良いと思う。
- ・活動内容が飛躍しているように思うので、もう少し取り組み方と活動のゴールを狭めて段階的に事業を展開していった方が、より着実に大きくなっていくのではないかな。
- ・代表者が運営事務を一手に引き受けている状態であるため、補佐役や役職の割り当てを行い、複数人での運営体制にしていくと良いと思う。

【審査結果】

合計点 74.9 点 ≥ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥ 3 点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥ 6 点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合 計		74.9

《審査内容》

一般部門

事業番号	4	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	第27回未来コンサート（第24回弘前桜の園作曲コンクール含む）		
団体名	弘前桜の園音楽協会		

【主な意見】

- ・ワークショップの参加者が伸び悩んでいるが、団体がその課題をなんとか改善しようと色々な努力をしている姿勢を全部の団体に伝えたいくらいなので、ぜひ頑張っていたきたい。
- ・ワークショップの参加を働きかけるにあたり、音楽の先生へのアプローチとして今までの出品作品を提示することでレベルが分かり、応募する件数が増えるのではないかな。
- ・前回のワークショップのチラシは字が多すぎる印象なので、QRコードを載せてそちらに詳細な情報や昨年度の音源を掲載したり、その分空いた箇所に昨年度の実施の様子を載せたりして子どもたちが取り組みたい、自分でもできると思えるような内容で作成したら良いと思う。
- ・子どもたちがいきなり作曲をするのはハードルが高いと思うので、例えば既存の曲のアレンジといった方法で曲を作るなど、取り組みやすい方法で行うのも良いと思う。

【審査結果】

合計点 71.8 点 ≥ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥ 3 点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥ 6 点 $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.9
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合 計		71.8

《審査内容》

一般部門

事業番号	16	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	第十一回全日本横笛コンクールおよび弘前ねぷたまつりPR事業		
団体名	津軽笛地域づくり実行委員会		

【主な意見】

- ・オンライン観覧などの新しい取り組みを毎年度導入している点や、コンクール参加費や協賛金など、工夫して財源を確保している点について、非常に高く評価できる事業である。
- ・観覧者の増加や弘前ねぷた・横笛文化などのPRという視点で考えると、コンクール2日目の入場料と同様に、オンライン観覧についても無料にすればより観覧者が増えると思う。
- ・参加者や観覧者の増加により協賛金を集めやすくなることで、新たな視点が期待できる事業であるため、新しい視点での取り組みを検討していただきたい。

【審査結果】

合計点 79.2点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		79.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	7	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	ひろさきで学ぶ 芸術歌曲の技と心 2026		
団体名	弘前大学教育学部声楽研究室・ピアノ研究室		

【主な意見】

- ・会場が弘前大学の構内になっているので、チラシに地図を掲載するなど、一般の方にも分かりやすいような工夫が必要だと思う。
- ・声楽やピアノだけにターゲットを絞るのではなく、他の分野の方々を巻き込んでいくことで集客数を増やしたり、関心度を高めていくというやり方がとても良いと思う。また、他の団体にも参考となる事業だと思う。
- ・前回実施した事業のアンケートにおける改善すべき点について、取り組みが事業に反映されており、高く評価できる。

【審査結果】

合計点 77.1点 ≥60.0点 , 各項目の平均点≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.4
合 計		77.1

《審査内容》

一般部門

事業番号	13	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	赤ちゃんも！音楽ファンも！みんなのコンサート		
団体名	アートワールドひろさき		

【主な意見】

- ・事業開始当初からの子育て支援として母親たちにも気軽に音楽を聞いてほしいという目的を維持しつつ、活動を色々な方向へ広げながら新しい取り組みを行っているところが素晴らしく、ぜひ応援したい。
- ・大々的ではなくても音楽に触れる機会を作ること、弘前市民は文化が好きということを実感し、地域の方々と音楽を作っていくということが徐々に定着してきていると改めて感じたので、ぜひこのまま頑張っていただきたい。

【審査結果】

合計点 80.5 点 ≥ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥ 3 点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥ 6 点 $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合 計		80.5

令和7年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日 時：令和8年3月13日（金）

午後6時～8時20分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、
伊藤委員、佐藤（信）委員、斎藤（明）委員、齋藤（夢）委員、小向委員、
大湯委員、一條委員、佐藤（綾）委員、工藤委員

事務局 土岐課長、山崎課長補佐、佐藤主幹兼協働推進係長、田中主幹兼市民生活係長、
葛西主査、工藤主査、佐々木主事、吉田主事、山内主事

2 審査方法

1日目同様

3 審査結果

・一般部門	24事業中5事業
採択事業	5事業
不採択事業	0事業

※スタート部門 申請なし

《審査内容》

一般部門

事業番号	1	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	「第15回 津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」		
団体名	弘前歩こう会		

【主な意見】

- ・事務局と一緒に企画に携わり、新しいアイデアを出してくれるような人を引き入れることができれば、事業の継続性や発展性が高まっていくと思う。
- ・クマ対策が事業計画に盛り込まれていないことが気がかりである。突発的に何か起こったときの対処を考えて事業を計画していただきたい。
- ・若者に周知するためには、SNSの活用は有効的なので、周知への取り組みについても検討していただきたい。
- ・学生の中にも岩木山に登ってみたいという人はたくさんいると思うので、サークルへの周知や学校内へポスターの掲示をしてみてもどうか。
- ・「歩こう会」という名称は高齢者がメインという印象を受ける。名称変更を含め、若者向けに団体が実施してきたカルチャーのバージョンアップも必要ではないか。
- ・より認知度を上げていくために、事業の改善や発展のための新しい取り組みを期待したい。

【審査結果】

合計点 69.5点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合 計		69.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	2	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	防災・地域づくり「第9回 西部仲町 自主防災会 防災訓練事業」		
団体名	西部仲町自主防災会		

【主な意見】

- ・町会で独立して防災訓練を実施できるように、チラシ内に協賛企業の募集に関する内容の記載を検討していただきたい。
- ・これまで継続してきたことの次の段階として、町会からの助成金だけで防災訓練を実施することを考えた場合に、経費をかける部分と削減する部分を整理することで、より持続可能な訓練になると思うため、検討していただきたい。
- ・仲町地区においては、洪水が最も懸念される災害になると思うが、洪水が起きると広場での炊き出しなどは難しくなるため、洪水が起きた際に町会の方がどのようにして避難するのかということをストーリー立てて防災訓練を実施していただきたい。
- ・ローリングストックなどの自助に関して、防災課で実施している出前講座を利用するなどして町会役員の方も学んでいただけると、防災活動に対する理解度や周知度も広がるため、検討していただきたい。
- ・仲町地区では子どもを中心とした新たなコミュニティができつつあるため、防災を切り口にした取り組みをコミュニティ活動に組み込むなど、工夫して取り組んでいただきたい。

【審査結果】

合計点 73.9 点 ≥ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥ 3 点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥ 6 点 $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.9
合 計		73.9

《審査内容》

一般部門

事業番号	3	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	第6回 武家屋敷の町並み周知事業 ～武家屋敷で楽しもう～		
団体名	弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会		

【主な意見】

- ・仲町地区を市内外の方々にもっと知ってもらうため、ホームページの作成や SNS での宣伝を予算化して行う方が良いと思う。また、マスコミを利用して周知を行っていくことも検討していただきたい。
- ・法人化を検討しているということだが、設立の際には、ぜひ次世代を担っていく方々と一緒に立ち上がり、今後何十年も継続できるような体制を作っていただきたい。

【審査結果】

合計点 79.2 点 ≥ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥ 3 点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥ 6 点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.9
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		79.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	15	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～ 題「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後455年祭		
団体名	和徳歴史探偵団		

【主な意見】

- ・事業が始まってから十数年経ち、宵宮がとても賑やかになったと感じている。若い人たちの和徳を何とかしよう、元気にしようという活性化のエネルギーにとっても共感を覚えるので応援したい。
- ・団体が配布している歴史マップは、和徳地区の歴史を理解する助けとなる地図であるうえ、旧市内でこのような資料を配布している例は少ないため、地区を盛り上げる貴重な起爆剤になっており感心している。
- ・子どもの頃に郷土料理を食べる機会が減ってきているので、この事業をきっかけに、子どもたちにはけの汁が地元の料理であることを知ってもらい、食べ慣れて欲しいので、これからも継続してほしい。

【審査結果】

合計点 80.7 点 ≥60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3 点 ,
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.9
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.9
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		80.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	1 2	審査区分	交付決定回数 0 ～ 2 回の事業
事業名	「弘前市の大石武学流庭園めぐり」		
団体名	大石武学流庭園調査研究会		

【主な意見】

- ・大石武学流庭園を所有しているが、代替わりして解体してしまっている方がたくさんいると思うので、庭園を見て回るだけではなく、個人所有者への周知徹底に努めていただきたい。その際に、名刺代わりになるような団体のホームページやパンフレットなどの作成も考えていただきたい。
- ・市内に 200 以上の大石武学流庭園があるとのことだが、実態や状況を所有者へのアンケート調査や実際の庭の写真を撮影するなどして示していただきたい。
- ・事業の目的に「庭園を所有している個人所有者の方にも理解を深めていただく」とあるが、前回の審査会の際にも話のあったアンケート調査が手つかずであることから、この目的に沿った事業内容の計画をもう一度考え直していただきたい。

【審査結果】

合計点 68.3 点 $\geq$ 60.0 点 , 各項目の平均点 $\geq$ 3 点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.9
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合 計		68.3

令和7年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（3日目）

日 時：令和8年3月14日（土）

午前9時30分～午後0時50分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、安田委員、相馬委員、小山内委員、伊藤委員、佐藤（信）委員、
斎藤（明）委員、小向委員、大湯委員、一條委員、工藤委員

事務局 土岐課長、山崎課長補佐、佐藤主幹兼協働推進係長、木村総括主査、工藤主査、
佐々木主事、吉田主事、山内主事、成田主事

2 審査方法

1日目同様

3 審査結果

・一般部門	24事業中8事業
採択事業	8事業
不採択事業	0事業

※スタート部門 申請なし

《審査内容》

一般部門

事業番号	2 3	審査区分	交付決定回数 3 回以上の事業
事業名	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動		
団体名	乳井町おこし協力会		

【主な意見】

- ・より多くの方を呼び込むために、教育機関に PR 活動をして、散歩コースや遠足のコースとして取り入れてもらうなどの工夫があるとより良い事業になると思う。
- ・自分たちで整備することは素晴らしいが、今後も継続していくために有償ボランティアなど外部にも協力していただき、長く事業を継続していただきたい。
- ・今後も続いてほしい事業だと感じているので、次の世代の人たちの参考となるような整備のポイントなどを記録に残す作業も並行して行っていただきたい。
- ・団体が手間をかけずに収入を得る方法として、地元の野菜や果物を無人販売することもあると思う。購入を目的に訪れた方が周囲を散策してみるといいと思うので、ぜひ取り組んでいただきたい。
- ・桜の時期などに単発のイベントを実施し、例えばその中で昔について語ることも面白いと感じた。長く続けられる新しい取り組みになると思うので、ぜひこの先も頑張ってください。

【審査結果】

合計点 81.6 点 ≥ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥ 3 点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥ 6 点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.4
合 計		81.6

《審査内容》

一般部門

事業番号	5	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	大沢川環境整備事業		
団体名	大沢町会		

【主な意見】

- ・一級河川に満たない川の環境整備は、クマの出没対策の面でも大切なことで、よく取り組んでいると感じている。今後もぜひ継続していただきたい。
- ・本来は行政が担うべきことだと思うが、行政の手が届かない部分を町会で補っていただいているという点で、行政と町会の連携の模範的な事業だと評価している。皆さんが力を尽くして川を維持されていることが素晴らしく、大いに応援したい。
- ・大沢川の整備によって、魚や動物などの生物の保護につながっていると思うため、ぜひ継続していただきたい。

【審査結果】

合計点 81.3 点 ≥60.0 点 , 各項目の平均点 ≥3 点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		81.3

《審査内容》

一般部門

事業番号	1 1	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	青少年育成スポーツ奨励事業「集まれ！！JC スポーツ」		
団体名	一般社団法人 弘前青年会議所		

【主な意見】

- ・将来的に自分たちは一步引いて他の団体へ事業を移行していくということだが、事業の構成として、目的、事業内容、将来という部分が繋がっていないのではないか。
- ・事業の実施時期が4月中旬となっているが、一番効果的な時期であるのか疑問である。また、スポーツクラブブックの配布が100部というのも少ないため、電子ブックや紙にQRコードを載せたものを配布するといった方法も検討していただきたい。
- ・子どもと一緒に親も体験するというような、親子が触れ合いの機会を持つイベントを考えてみても良いのではないか。
- ・スポーツを始めるための窓口としてランニング編を設定するのであれば、その窓口への惹き付け方をもう少し練っていただきたい。スポーツをしたいという子どもたちの裾野を広げていける事業に育ってほしい。

【審査結果】

合計点 68.7 点 ≥60.0 点 , 各項目の平均点 ≥3 点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.9
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.1
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.4
合 計		68.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	10	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	夏休み親子でワークショップ		
団体名	手作り工房【さーくる】		

【主な意見】

- ・女の子向けの内容が比較的多く、男の子向けの内容や男の子の参加者の少なさが課題と考えられるため、男性の講師に依頼することも検討してほしい。
- ・多様なものづくり体験を親子で一緒に体験できる貴重な機会を提供する事業であるため、ぜひ継続してほしい。
- ・ワークショップへの参加条件について、親子や祖父母と孫の関係に限定せず、同じ生活空間や共通意識を持つ大人と子どもの組み合わせや、子どものみでの参加を認めるようにすることで、子どもたちの参加機会を増やしてほしい。

【審査結果】

合計点 77.3 点 ≥60.0 点 , 各項目の平均点 ≥3 点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.6
合 計		77.3

《審査内容》

一般部門

事業番号	8	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	Sott Sott の居場所		
団体名	Sott Sott		

【主な意見】

- ・参加者から構成員になった方がいることで、代表の負担が少しでも軽減される方向になっているのが良いと思う。
- ・県外では病院で行っているような内容であり、本当にありがたいと思う。居場所に参加することで参加者が回復したり治療につなげていけるかもしれないという意味では、大きな役割を担っていると思うので、負担にならない程度で頑張っていただきたい。

【審査結果】

合計点 86.0 点 ≥ 60.0 点 , 各項目の平均点 ≥ 3 点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審 査 項 目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.4
合 計		86.0

《審査内容》

一般部門

事業番号	22	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	月と山とみんなの居場所		
団体名	コミュニティスペース月と山と		

【主な意見】

- ・町会や民生委員など、地元の方々へのアプローチを事業実施と並行して行うことで、東目屋地域在住の参加者を得られるほか、地元の方々の協力を得ることができるのではないかと。
- ・東目屋地域の子どもたちの居場所づくりや他地域在住の子どもたちに対する自然体験の提供など、複数の事業目的が絡み合っており、事業目的とそれに対する実施内容を整理する必要があると考える。
- ・事業目的を整理したうえで、他地域の子どもたちの宿泊体験など実施内容の一本化を行ったり、東目屋地域と他地域の子どもたちの交流を図るなど、新たな活動の場として機能することも可能な事業と考える。

【審査結果】

合計点 67.1点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.9
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.1
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.2
合 計		67.1

《審査内容》

一般部門

事業番号	14	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	第6回 弘前さくら夢 project～ 小野伸二 サッカー教室		
団体名	NPO 法人弘前Jスポーツプロジェクト		

【主な意見】

- ・年々事業がパワーアップし、総事業費も増えてきている中で、地域のみinnで子どもたちを支えていくという強い理念に賛同した企業の協賛金集めもすごく頑張られているが、補助金にも上限があるため、今後も事業を発展させていく際には、参加費や協賛金などのバランスを考えながら構成を行ってほしい。
- ・参加料を徴収しないことについて、団体のこだわりや男気に共感するし、団体の原動力にもなっていると思うので、その思いを曲げず、今後も頑張っていたきたい。
- ・Tシャツの作成は、協賛していただいた企業のロゴなどが入るため、協賛金を集めるための良い手法だと思う。また、記念品として物が残り、子どもたちの継続的な記憶にもつながることから、良い取り組みだと思う。

【審査結果】

合計点 77.1 点 ≥ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥ 3 点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥ 6 点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.1
合 計		77.1

《審査内容》

一般部門

事業番号	24	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	小さな命を守ろう ニャンちゃん譲渡会		
団体名	弘前保護猫活動連絡協議会		

【主な意見】

- ・保護猫活動は効果がすぐに現われにくい活動であり、地道な活動を継続的に行っていくことが大事だと思うので、1%システム補助金や他の制度を使うなどして、今後も継続して活動していただきたい。
- ・動物愛護という信念をもって活動していることに敬意を表するが、譲渡会などで外に発信する際には、その信念についても、セミナーの実施やパンフレットの配布などで、情報を発信して行ってほしい。
- ・自分はペット防災についての意識を高める活動をしているが、防災の話をしながら、どうすれば命が守られるのかという話もすることで、自分なりに動物愛護や保護猫活動の機運醸成へのお手伝いをしていきたいと思うので、ぜひ頑張ってもらいたい。

【審査結果】

合計点 80.5点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合 計		80.5

令和7年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（4日目）

日 時：令和8年3月15日（日）

午前9時25分～午後0時05分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、伊藤委員、
佐藤（信）委員、斎藤（明）委員、齋藤（夢）委員、小向委員、大湯委員、
一條委員、佐藤（綾）委員、工藤委員

事務局 土岐課長、山崎課長補佐、楠美総括主幹、佐藤主幹兼協働推進係長、工藤主査、
工藤主事、佐々木主事、吉田主事、山内主事

2 審査方法

1日目同様

3 審査結果

・一般部門	24事業中6事業
採択事業	6事業
不採択事業	0事業

※スタート部門 申請なし

《審査内容》

一般部門

事業番号	9	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	手作りケア帽子とヘアウィッグ貸し出しでがん患者さんを応援!!		
団体名	ほほえみネットワーク		

【主な意見】

- ・事業周知用のチラシ作成費用や会場の使用料など、ケア帽子づくり以外での関連活動を行った際においても1%システム補助金の活用を検討し、団体の負担が少ない範囲で活動を継続してほしい。
- ・SNSによる広報活動については、今後SNSを扱える方が団体に加入した際に順次対応していただきたい。

【審査結果】

合計点 89.0点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	9.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.1
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	9.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.9
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.9
合 計		89.0

《審査内容》

一般部門

事業番号	20	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	いろんな鬼ごっこゲームで遊ぼう!&スポーツ鬼ごっこ交流大会2026冬の陣		
団体名	特定非営利活動法人ひろさきレクリエーション協会		

【主な意見】

- ・前回の事業ではインフルエンザの影響で事業の一部を実施できなかったとのことだが、冬の活動で子どもたちに体を動かして元気になってほしいので、冬の活動の前に体力をつけるような活動を行うなど、工夫をして頑張っていたきたい。
- ・事業をより発展させるためには、審判の資格を持っている方が全員稼働できるような状態を目指すことが一つのポイントになると思う。活動に参加する大人が増えてきたとのことなので、ぜひその方たちがスタッフとして一緒に活動してくれるように団体から働きかけをして、スタッフの数を増やしていくことをお願いしたい。

【審査結果】

合計点 73.7点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合 計		73.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	19	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	みんなでからだを動かして遊ぼう！		
団体名	子育て支援サークル ママーズクラブ		

【主な意見】

- ・この活動の一番の核となるところは母親たちの体のケアであったと思うが、チラシからは子どもたちの遊び場という印象を受ける。市民に活動内容が見えるようにする工夫が必要であるが、マタニティービクス、産後のアフターケアなど、母親を癒そうという部分がチラシには不足しているように思う。
- ・団体が目指す目的がぶれないように活動してほしいので、遊びの部分が中心に聞こえてしまう事業名を変更したり、周知の仕方を変えたりして、他団体との差別化を図ってほしい。
- ・子どもたちが集まりやすい事業であるので、子どもとその付き添いの親たちで新たなコミュニティが作られることを期待したい。

【審査結果】

合計点 75.3 点 ≥ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥ 3 点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥ 6 点 $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.9
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.4
合 計		75.3

《審査内容》

一般部門

事業番号	18	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	「みんなの食堂」おいでえーる		
団体名	社会福祉法人千年会		

【主な意見】

- ・地域活性化に結び付いている活動内容であり、事業実施における課題の絞り込みもできている優良な事業であるため、団体が対応可能な参加者数の範囲内で活動を継続していただきたい。
- ・地域住民による福祉関連の活動や町会活動が下火になってきている中で、事業所がリーダーシップを取って活動を行うことで地域貢献ができており、非常にモデル的な事業であると考え。
- ・障がい者への理解を促進する場として機能するなど、団体の持つノウハウを活かしており、また、ボランティアなどを募る仕組みも出来上がっている優良な事業であると考え。

【審査結果】

合計点 92.0点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	9.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	9.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.1
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	9.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.9
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.9
合 計		92.0

《審査内容》

一般部門

事業番号	17	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	岩木 みんなの食堂 ひだまり		
団体名	岩木 みんなの食堂 ひだまり		

【主な意見】

- ・お腹一杯食べてもらうことが最高のおもてなしである、というのがすごく伝わってきた。団体にはそれぞれ特色があると思うので、この路線で今後も頑張っていたきたい。
- ・こども食堂などを運営している他の団体の活動を見学し、どのような手順でどのように決めていくのかという過程を参考にさせていただくと、また新しい活動が展開できると思う。今後も団体のペースで頑張っていたきたい。
- ・構成員が増えたり、参加者も年々増加してきているということが、地域の方々に受け入れられてきているということだと思う。今後も構成員や参加者を増やしていけるように、頑張っていたきたい。

【審査結果】

合計点 84.7点 ≥60.0点 , 各項目の平均点≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.4
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.3
合 計		84.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	21	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	きずなカフェ		
団体名	東地区ちいきの絆食堂		

【主な意見】

- ・活動を継続するうえで、有償ボランティアに要する経費が負担になる可能性があるため、今後も継続可能な事業として成り立つには、どのくらいの団体の規模が適正なのか、一度精査してみる必要があるのではないか。
- ・地域全体で支えるサポーターのようなものを作るなど、これまでと異なる視点で活動内容の素晴らしさを地域に広めてほしい。
- ・東地区の方々の子育て世代が多く、平日は働き、日曜日にきずなカフェを実施していることを考えると、有償ボランティアを依頼することは今の時代に合ったやり方だと感じているが、町会の方たちにもボランティアをお願いするなど、有償ボランティア以外の人たちを多く巻き込んでいくことが今後の課題だと思う。

【審査結果】

合計点 78.3 点 ≥ 60.0 点 , 各項目の平均点 ≥ 3 点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.4
合 計		78.3